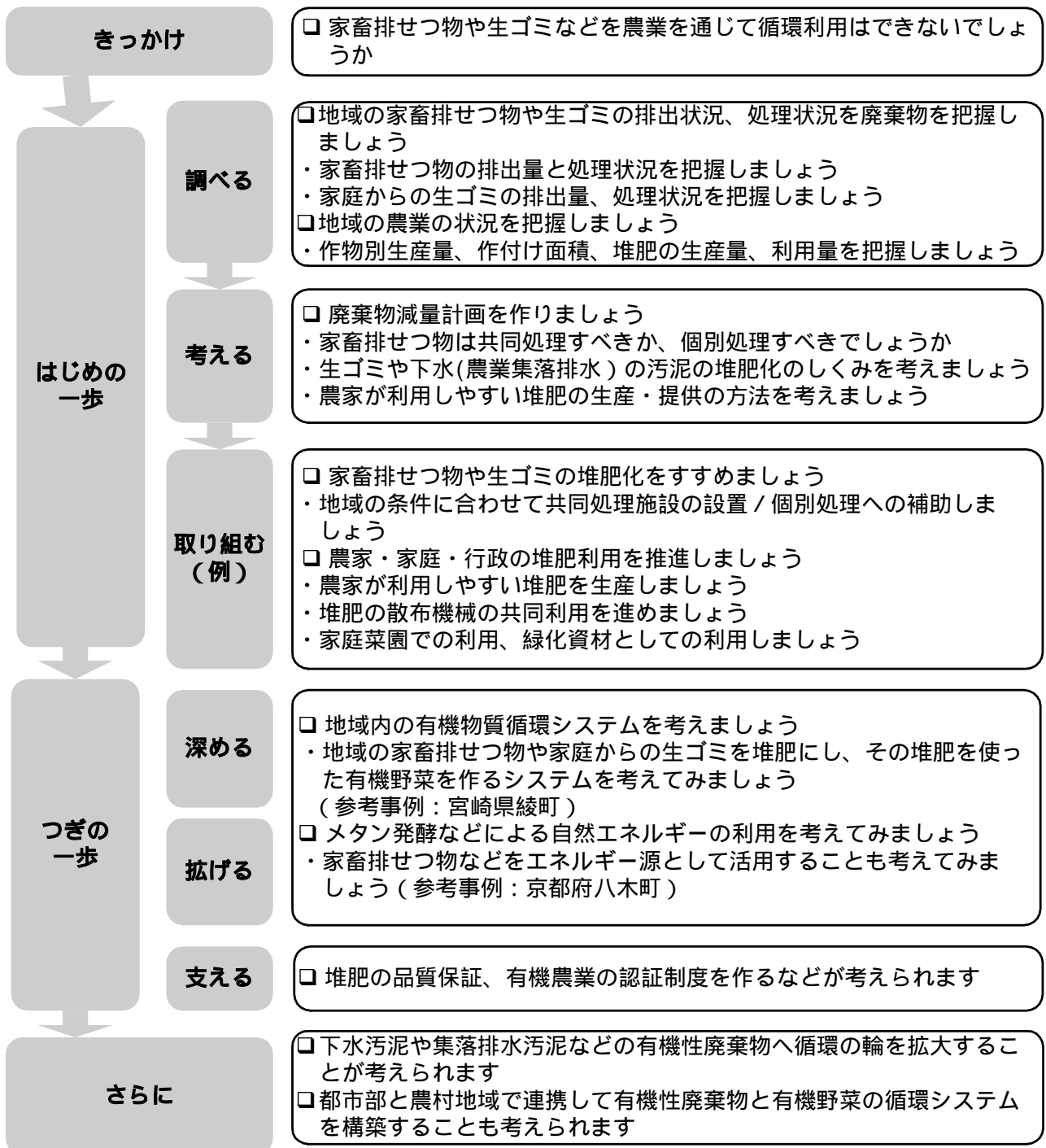
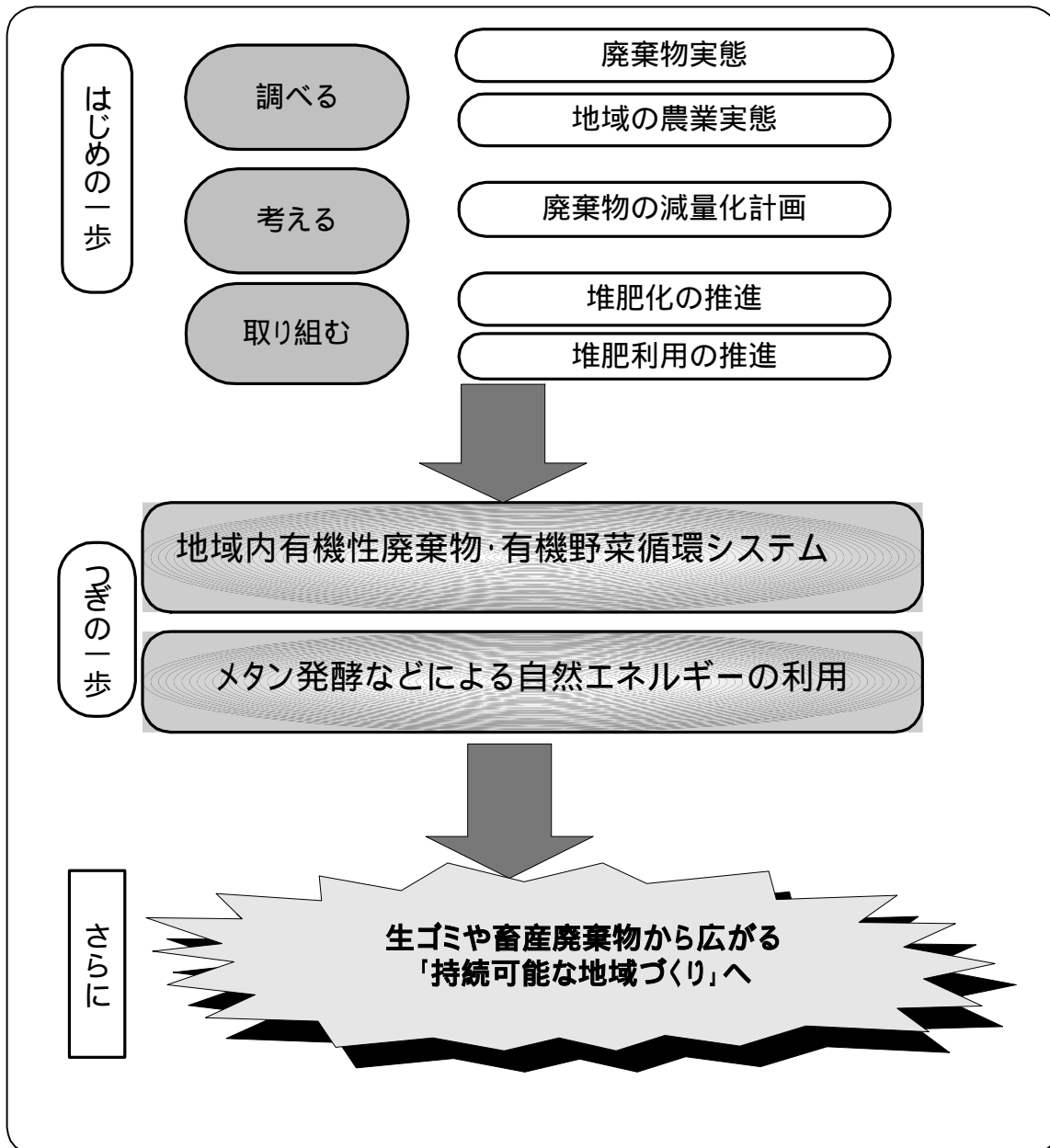


3. ものの循環に関する「持続可能な地域づくり」 農業を中心とした循環利用からはじまる地域づくり

あなたの地域では家畜排せつ物の処理は課題となっていないですか。
 家畜排せつ物は、堆肥にして農地に還元するのが理想であり、堆肥化施設をつくるだけでなく、堆肥を受け入れる農業の振興も必要です。
 ここでは、家畜排せつ物の処理からはじまり、地域全体の有機物を持続的に循環利用できる地域づくりについて考えてみましょう。





参考事例

宮崎県綾町（事例集）

町役場、農家、町民が協力し、有機農業の振興と一体的に進められた堆肥の生産・利用の取り組みを推進しています。

長野県飯田市（<http://www.city.iida.nagano.jp/furusato/052/f5200.htm>）

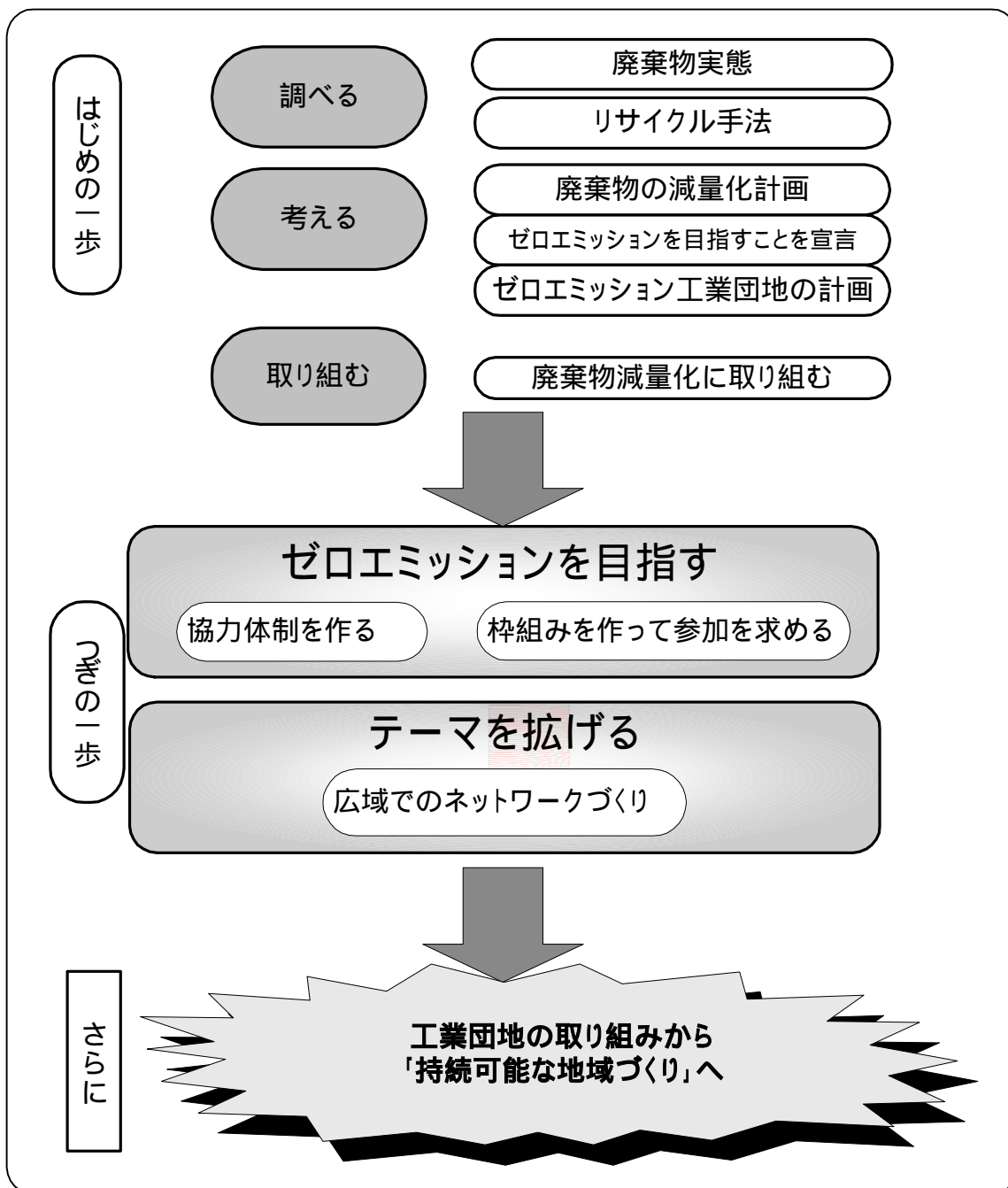
域産域消による循環型地域産業振興を行っています。地域を見据えた行政、農協、地域自治会、高齢者や女性の活用によって地域の伝統的品種の掘り起こし、地域の伝統的な調理、行事食の保存と復活をしています。さらに食事を他地域から食べに来てもらうことでの域内での消費の活性化をはかります。また、年間2万人を越える援農を組織し、地域のエンパワーメントと活性化を推進しています。

域産域消：地域でとれたものを地域で消費するという考え方

3. ものの循環に関する「持続可能な地域づくり」 廃棄物排出の少ない工業団地からはじまる地域づくり

工業団地でも廃棄物を減らしていく取組が求められています。
ここでは、工業団地内で連携して廃棄物の減少に取り組み、さらに周辺の地域と一体となってゼロエミッションの輪を広げていく地域づくりについて考えてみましょう。





参考事例

藤沢エコインダストリアルパーク（神奈川県藤沢市）（事例集 ）

工場に隣接した住宅敷地に環境負荷低減技術を集大成させ、ゼロエミッションを具体化すべく取組を進めています。

国母工業団地（山梨県甲府市他）（事例集 ）

工業団地からの産業廃棄物ゼロを目指す取組を推進しています。